

第1分科会提案

意思決定支援は権利支援

社会福祉法人 弘徳学園
重利政志

1. はじめに

2. ある意思の表明

- (1) 「もうあなた(職員)には介助してもらいたくない」
 - ・度重なるトイレ介助の失敗について激怒
 - ・他の事業所に変わりたい
- (2) 「あなた(職員)は、私の話をちっとも聞いてくれないから嫌い」
 - ・わかった、わかったと言うだけ。まともに話を聞こうとしない
 - ・「無外」は、自分の誇りをまもるためにやった
- (3) 「人口呼吸器をつけていても、校区の学校に通いたい」
 - ・親の付き添いができないのなら、受け入れられない
 - ・看護師には、呼吸器の着脱はリスクが高いのでさせられない
- (4) 「これからも家族と一緒にくらしたい」
 - ・89歳の父の認知症、86歳の母の怪我
 - ・もう限界、入所への決断
- (5) 「職員を信じてみようと思った」
 - ・利用者と職員の虐待合同研修
 - ・長い間、施設でわたしは(希望を)諦めさせられた

3. 意思決定(権利行使)を邪魔するものは

- (1) 「保護者の疲れ切った表情」
 - ・誰が、疲れさせたのか
 - ・「(入所)施設はなくてはならない」
- (2) 「施設で働いている職員の生気の欠けた瞳」
 - ・先輩職員の利用者に対する姿勢や価値観をみて育った
 - ・「施設は彼をそだてられなかった」
 - ・「多少の暴力は仕方ないが、彼は日常的に暴力を振るっていた」
- (3) 「不幸を作ることしかできない障害者」
 - ・自分の中にもいるモンスター
 - ・「障害」者支援現場は、今こそ、この言葉に反撃しなければいけない

4. 自分のことは自分で決める!ひゅうまん自治会の実行力

(1)平成28年度自治会活動計画書(2016年2月24日)

①目標 自分たちのことは、自分でできる

なかまだから たすけあっていきましょう
げんきに いのちをたいせつにしよう

- ・今回、初めて自分たちの力で、新年会を考えて、やることができた。この経験がとても自信になった。
- ・来年度は、地域のひとと仲よく、いっしょにもっともっとふくらむような活動をしていきたい。
- ・お互いにやさしい気持ちをもって、からだも、こころも、いのちを、たいせつにしていきたい。

②年間行事計画

4月・・園内整備、5月・・お花いっぱい運動、6月・・アウトドア体験と夏祭りの準備、7月・・夏祭り、8月・・アウトドア体験、9月・・敬老会、
10月・・お花いっぱい運動、11月・・感染症予防ポスター、12月・・新年会の準備、1月・・新年会、2月・・園内整備、3月・・役員選挙、おつかれさま会

(2)東日本大震災支援を実行(2011年3月19日)

Q 地震についてどう思いますか

A 可哀そう

すごいと思う

逃げ場所がない

あつたかいご飯も食べれへん

年寄の人もいけど、薬もない

着る者もない

Q なにかできることはありますか

A 電気の節約、テレビ

暖房の節約、油もない

なんばか自治会で募金しよう

みなさんを元気づけるために、募金を届けましょう

ひとり100円ずつ募金しよう

募金箱は片山さんが作ってくれる

100円じゃ足りんなど

もうちょっと増やしたほうがええ

200円か500円くらいにしよう

こんな時じゃから500円にしよう

ということで、一人500円の募金を集め、合計29,110円(なぜか半端)

と励ましメッセージを、4月16日、施設長が宮城の被災施設に届けた

(3)70周年記念式(2011年10月1日)で、参加者全員に抹茶のもてなし

・テーマ「あなたいっしょに生きてください」のもとに全員参加

・お客様に「おいしい」「また来たい」と言われて嬉しかった

(4)利用者、職員合同研修「障害者虐待防止法」(2012年12月24日)

・「『無外』はあてつけ。自分の誇りをまもる為」

・「ぼくは、もうぜったいに友だちをなぐりません」

(5)自治会主催、岡山市内にある「国際ホテル」で新年会を決行(2016年1月18日)

・なにからなにまで、自分たちで

・企画力、交渉力の高さを証明

(6)自治会会长、バリバラ(Eテレ)取材に応じる(2016年6月5日、6日)

・(昔)ここ(倉庫)に閉じ込められたことがある。後ろに手錠をはめた状態で。動けない状態で閉じ込められた。同じ人間なのに怖くなった

・(職員を)信じられなくなって、諦めていた。もう(何を)言っても無理じゃろうと思って

・職員が決めたルールだったら、守らなくてやぶってしまう。自分たちでルールを決めたら、守ってきています。仕方がないな。自分たちで決めたことは守るしかないな

・職員が話を聞いてくれるのは大きい。信頼関係ができてきましたね